

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2022~2023年度 No.282

6 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：YMCAサポート
歴史
振り返り

今月の聖句 イザヤ52:12

あなたたちの前を進むのは主であり、しんがりを守るのもイスラエルの神だから。

6月第1例会（講演会）

日時：6月17日（土）午後4時～5時30分

場所：日本基督教団西那須野教会1階ホール

内容：「もしもの時」に備えて話し合ひましょう その2
司会：田村 修也副会長

那須ワイズメンズクラブ 主催

講演会 その2

「もしもの時」に備え話し合ひましょう～

みんなで語り合ひましょう。

2023年6月17日（土）

午後4時～午後5時30分

講師：河野順子ワイズメンズクラブ会長・(社)栃木県訪問看護ステーション協議会 会長

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために

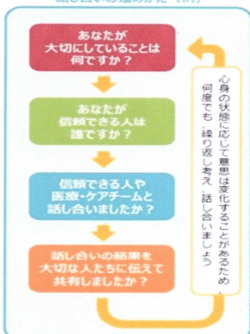
～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ひてみませんか～

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合ひ、共有することが重要です。

話し合ひの進めかた（例）



「入場料」無料

会場/日本基督教団西那須野教会 (那須塩原市太夫塚 1-232-438)

【主催】 那須ワイズメンズクラブ・那須YMCA

お問い合わせ 那須ワイズメンズクラブ 副会長 田村修也 090-5545-6763

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良 (甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長： 大久保 知宏 (宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子
副会長：村田 榮・田村 修也
書記：藤生 強
会計：村田 榮・鈴木 保江
担当主事：平山 雄大
ブリテン：田村 修也・村田 榮

5月例会データー（出席率：100%）

在籍者 7名
出席者 5名 メーキャップ 2名
コメント 1名 ゲスト 28名 (内営林署4名)

6月 Happy Birthday

なし

・第26回東日本区大会

日時：6月3日（土）～4日（日）

場所：APIO 甲府

・7月第2（役員会）例会

日時：6月30日（金）午後4時30分から

場所：田村副会長宅

・7月第1例会（キックオフ・入会式・祝賀会）

日時：7月14日（金）午後5時～

場所：遊膳（那須塩原市東町14-3）

巻 頭 言

藤生 強

私の勤務するYMCA特養マイホームきよはらの新型コロナ状況報告第7弾です。

新型コロナウイルスの感染症法上「5類」への移行がGW明けに行われました。テレビ番組を見ていると、行楽地や繁華街は人で賑わっている様子が映し出されています。また主にバラエティー番組では、アクリル板が取り去られ、出演者同士は肩が触れ合うほど近づき、いつの間にか新型コロナは無くなったかのような錯覚に陥ります。

そんな中、広域特養マイホームきよはらでは再び感染クラスターが発生しました。厚生労働省の専門家会合は『5月のGW明けに感染が拡大することがあり得る』との分析を公表していましたので、残念ながらその通りになりました。

今回は退院してきた入居者が感染しており、そこから感染が拡大しました。入居者及び職員合わせて約15名が感染し、基礎疾患等があり入院した入居者は数名いましたが、ほとんどの方は施設内をゾーニングし感染拡大の対処を取りながら療養しました。昨夏の感染クラスターの経験を活かしてしっかりと感染拡大防止対策を取り、感染発覚から約3週間で終息しました。

『5類』になったとは言えウイルスの感染力はとても強く、ゾーニングしたユニット内入居者の半数が感染し、数名の職員への感染もありました。少しも油断は出来ないと感じました。

私たちは、感染予防を講じるのはもちろんのこと、『症状は無いけれど、もしかしたら感染しているかもしれない』と考えて相手と接することが大切と感じました。

一刻も早いコロナ禍の“本当”の終息を祈るばかりです。



2023. 5.20 5月例会（植樹） 於：那須街道赤松美林

5月第1例会(植樹例会)報告

日時：5月20日(土)午前10時～

場所：那須街道赤松美林

出席者：河野、田村、村田、藤生、張の各メンバー、田村コメント、ゲスト：塩那森林管理署4名、吉田さんご夫妻、カトリック教会4名、シルバー大学2名、ガールスカウト16名 計34名

5月例会は、恒例的那須街道「赤松美林」への「赤松苗木の植樹」を行いました。前日は大雨だったため天候を心配しましたが、当日はすっかり晴れとなり活動日和となりました。

那須街道赤松林入口駐車場に集合したのち、そこから1kmほど北の赤松林内にある塩那森林管理署指定の植林地へ森林管理署の車の先導にて移動しました。

植林地に到着後、森林管理署の方々の準備と指導のもと、ガールスカウトメンバー及び引率者、カトリック教会の方々、シルバー大学の方々、毎年参加される福島よりのゲスト2名、そしてワイズメンバー、の総勢34名ほどで植林が始まりました。風が少し冷たく肌寒くはありましたが、赤松林の松の枝の間から降り注ぐ太陽の陽が心地よい中での作業となりました。



事前に森林管理署の方が立てた竹の棒の箇所には穴を掘って苗木を植えました。苗木は赤松林

に生えている松の松ぼっくりを発芽させ、40～50cmに育ったものを植えました。話によれば那須赤松林のDNAを守っていくためとのことでした。

植林の穴掘りは、雨によって土が柔らかくなっていたのが幸いし、落ち葉や木々の根がたくさんありましたが比較的容易に行えました。約100本の苗木を植える作業は順調に進み、1時間ほどで植林を終えることが出来ました。



植林終了後、ワイズを中心とした有志により、那須街道赤松林入口駐車場へ戻って、駐車場や

遊歩道のゴミ拾いを30分ほど行い、解散となりました。

その後、有志で墓沼疎水を巡った。

短い時間ではありましたが、緑の中での心地よい活動となりました。

5月特別例会(聖園那須老人ホーム訪問)報告

年間計画では、4月例会行事で聖園那須老人ホーム訪問の活動奉仕のはずででしたが、老朽化に追い打ちをかけるように、東日本大震災により地盤のみならず建物も破損が目立ち、2023年4月20日に新棟竣工の運びとなり、4月は引っ越しもあり、予定より遅らせて5月に訪問致しました。

聖園那須老人ホームは、1970年社会福祉法人聖心の布教姉妹会のもとで、栃木県の要請により定員50名の養護老人ホームを運営開始し、2008年に社会福祉法人イースターヴィレッジに事業が引き継がれました。

旧棟の前庭に建てられた直線型の視認性は高く、さらに共用ゾーンと居住ゾーンの分離がなされ、車椅子でもすれ違いを容易な広さの廊下幅で入居者の方には、快適な様子でした。

那須ワイズクラブの奉仕は、古布の提供です。高齢者には、必要不可欠なものであり、那須クラブでは大量に提供しているつもりでも当該職員によりますと、あっという間になくなるそうです。次年度は年に2回に増やしていくことも考えていく必要があります。

真新しい応接室にて、いつも那須クラブの例会に出席下さる顧問の赤坂さんはじめ職員の方に対応して頂きました。メン・メネット6名で行って参りました。那須の緑に送迎されたよき日でした。



6月第2例会(役員会)報告

日時：6月6日(火)午後4時30分から

場所：田村副会長宅

出席者：田村副会長、村田副会長、平山担当主事、

張ウエリ

1. 6月例会の件

6月17日(土)午後4時から西那須野教会にて開催する。4月例会の講演会の2回目を開催する。チラシ、ポスターの作製は村田。資料の印刷は、平山担当主事。各自できるだけ多くのバインダーを持ってくる。プロジェクターの準備は平山担当主事。

2. 2022-2023年度事業報告の件

河野会長作成の報告書をもとに事業報告と次年度計画について話し合った。

3. 7月役員会(第2例会)の件

6月30日(金)午後4時30分から、田村副会長で行う。7月例会、8月例会、次年度計画について相談を行う。

4. 7月例会の件

キックオフ例会を7月14日(金)午後5時より、遊膳(那須塩原市東町14-3)で行う。会場の予約は、田村副会長に依頼。その時に、原田明子さんの入会式を行う。田村修也さんの東日本区奈良伝賞のお祝い会、原田明子さんの歓迎会も行う。

5. シイタケ昆布の購入の件

今回は、仕入れ先が繁忙期であるので、500gのみの購入とする。仕入れ値が上り続けているので、次回よりは値上げを行う。

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

普段の生活にもどれますように。

トルコ・シリアにおける大地震被災の復興が進みますように。

混合保育の時に、細長い木の皮と草を数本持っている年中組の女の子と男の子が、私のところに来て、「ツバメさんの巣に持って行きたい」と必死な顔で3度懇願され、一緒にバス車庫の軒下にあるツバメの巣の所へ行きました。担任には無断で外に連れだして気が急いでいた私は、「ツバメなので、高いところがいいかな」と灯油タンクの上を提案しましたが、子ども達は応じてはくれませんでした。2人でしばらく、あたりを見回しながら考えて、「一番高いあそこ」と灯油タンクを指さしたので、抱っこしますと、細長い木の皮だけを置きました。

このエピソードは、いろいろなことを物語っています。

一つは、子ども達が、自分の為にだけでなく、

子育て中のツバメの為に何かしたいという気持ちから、協同してツバメ巣の素材になるようなものを園内から探してきたこと。

二つ目は、どうしたらツバメの巣まで持って行くことができるかを考えて、担任の先生は忙しそうなので、園長に言えば、外にあるツバメの巣までなんとか連れて行ってくれるかもしれないと判断して要望を貰ったこと。

そして、木の皮を置く場所について、他者の言いなりではなく、ツバメのためにはどの場所が最善かを自分達で考えて結論を出したこと。

私は、コロナ禍が続いていたなかでも、子ども達がよりVUCAな時代を生きるための非認知能力の基礎が育まれていることをうれしく思いました。

5月9日のPTA合同部会、10日の給食委員会、ベルマーク委員会には、お忙しいところご参加下さりありがとうございました。どうぞ一年間、宜しくお願いいたします。

今年度初めての総務委員会では、廃油石けん作りを再開し、制服・遊び着・通園リュック等のリユースが決まりました。このほかにも、新聞紙、雑誌、段ボール、そして、アルミ缶等の回収もしています。子孫からお借りしている地球環境を大切にしていましましょう。

〈こころ・子育て、なんでも相談〉

お気軽にどうぞ ・無料

・月・火・水曜日

8:30~16:00

・電話 080-1386-1329

・担当 原明子保健師

〈法律関係相談〉オンライン又は電話

・予約制(園に連絡) ・初回無料

・担当 スクール・ロイヤー

栗谷しのぶ弁護士

聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースタービレッジ

那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

田植えも終わり、梅雨が近づく今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

新しい施設に引っ越し、一か月余りが経ちました。当初、職員も入所者の皆さんもそわそわと落ち着かず「私は、どこにいればいいの」等、所在ない心持ちでいるようでしたが、少しずつ新しい設備や部屋に慣れ、ようやく一区切りといったところまでござ

つけました。環境への適応が苦手なのが高齢者、とわかってはいましたが、実際に引っ越してみると想定していたよりも影響が大きい事が実感されます。漠然とした不安を訴える方、眠れない方、何だか体がふわふわすると話す方、人や物に執着する方など様々ですが、特に精神疾患をお持ちの方に影響が大きいように感じられます。旧施設では、新規の入所でも早い段階で落ち着く方が多いようでしたが、新しい施設では、そうは上手くいかないようです。新しいものばかり持て囃される世の中ですが、古いものもそう悪いもではないと見直す世の中になって頂きたいものです。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、地域にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

YMCAだより

【とちぎYMCAサマープログラムが始まります！】

6月16日（金）13：00～より、サマープログラムの募集受付が始まります。今年も宿泊キャンプやデイキャンプで山、川など夏を楽しむ企画が盛りだくさんです。是非、沢山の方にお誘い頂きご参加をお待ちしております！

WEB受付（予定）：6/16（金）12：30～

【とちぎYMCAリーダートレーニングを行いました!!】

5月28日にとちぎYMCAリーダートレーニ

ングを行いました。YMCA理解とグループワーク、応急救護などYMCAの基本的なことや実際の活動の中で必要な技術や考え方について自分自身で体験し、学んでいました。参加したリーダーは約20名となりました。YMCA理解では座学だけでなくレクリエーションを通して、グループワークについて学ぶなど楽しみながら実りある時間となったようでした。また、応急救護では那須ワイズメンズクラブの鈴木保江さんに講師としてお招きし、一時救命措置や包帯法などを実演・レクチャーしていただきました。サマープログラムに向けて良い弾みとなりました。



【とちぎYMCA・那須YMCA 6月の予定】

- ・6/3（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園 ネイチャークラフト
- ・6/10（土） サタデークラブ@長峰公園 ネイチャーハイク
- ・6/11（日） キッズネイチャーフェス@ろまんちっく村
- ・6/11（日） 6月Yキッズ@ハイキング みかも山公園
- ・6/17（土） サタデークラブ@ふれあいの丘 昆虫館見学
- ・6/24（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園 染物体験

編集後記

- ・田村副会長の力作である、「那須西原の水と緑」は、120回をもって完結いたしました。本当にありがとうございました。今月号に参考文献、年表、西那須野が原の主な出来事を5ページにわたり次ページより掲載させていただきます。時代背景を参考にしながら読みなおしをしてみるのもよいかと思います。大変重たくなりましたが申し訳ありません。
- ・那須も梅雨のシーズンに入りました。明るく毎日を過ごしたいものです。

那須西原の水と緑の参考資料

- | | |
|----------------|------------------|
| 那須疏水 | 田嶋 董 |
| 印南丈作・矢板 武 | 西那須野町 |
| 那須疏水百年史 | 那須疏水土地改良区 |
| 西那須野教会百年史 | 西那須野教会 |
| 聚蘆亭異聞 | 印南正一 |
| 教会史 | 田嶋 董（西那須野教会） |
| 那須野が原歴史探訪 | 石ぐら会 |
| 那須野が原の疏水を歩く | 黒磯の昔をたずねる会 |
| 那須野が原研究 | 那須野が原研究会 |
| 測量発達史に見る那須野観象台 | 西沢道夫 |
| 忘れられたる暁星園 | 佐藤一誠 |
| 狩野村郷土史 | 狩野村 |
| 西那須野村郷土史 | 西那須野村 |
| 西那須野町史 | 西那須野町 |
| 郷土の人々 | 下野新聞社 |
| 那須野が原 | 関東農政局那須野原開拓建設事務所 |
| 那須開墾社農業日誌 | 西那須野古文書研究会 |
| 西那須野町の開拓史 | 西那須野町 |
| 西那須野町百年の歩み | 西那須野町 |
| 明治の開拓と那須疏水 | 西那須野町郷土資料館 |
| 那須疏水写真百年史 | 那須野が原開拓史研究会 |
| 那須の戊辰戦争 | 北那須郷土史研究会編 |
| 特命全権大使米欧回覧実記 | 慶応義塾大学出版会 |
| 飢餓 | 教育出版社 |
| 図説日本史総覧 | 帝国書院 |
| 大田原市史 | 大田原市 |
| 烏山町史 | 烏山町 |
| 黒羽町史 | 黒羽町 |
| 百科辞典マイペディア | |
| インターネット資料 | |

年 表

西暦	年号	事 項	印南	矢板	日本と世界の主な出来事
1703	元禄16	関東地方12月31日推定M8.1の大地震発生、史上最悪、被害総数不明、鎌倉本牧で約600人死亡。前年に赤穂浪士46人が切腹しており、浪士たちの恨みで起こったと噂、外房海岸茂原9ヶ村2500人死亡、伊豆大島波浮池は波浮港となった。			
1732	享保7	享保の大飢饉、中国、四国、九州地方の西日本各地、特に瀬戸内沿岸一帯の冷夏と虫害			青木昆陽さつまいも試作
1782	天明2	天明の大飢饉、全国特に東北地方、1780~86の間に飢饉疫病の為、92万人余の人口減、各地に百姓一揆			印旛沼、千賀沼干拓~8.6
1787	天明7	8月3日浅間山大噴火			1789フランス革命
1829	文政12	大豊作で米粒が道に散乱、飢饉の前兆と心配される			
1831	天保2	尊徳下野で荒廃3ヶ村復興、10年で収穫3倍。 足利町大火災、今市宿助郷で因窮 丈作(神山阿達)日光入町東照宮絵方師長男として7月16日出生	0		良寛逝く
1832	天保3	宇都宮大火災、場内・侍屋敷・寺院等消失	1		伊勢お蔭参り流行
1833	天保4	東北風水害で大飢饉、天保大飢饉の始り、全村餓死、最上、仙台越後収穫0村も。古老58年前の大飢饉と同じと。鳥山藩内年貢半減を求めて農民一揆、凶作で米価高騰、足利で窮民屯集、鹿沼で打ち毀しの張り紙	2		北斎富岳三十六景完成
1834	天保5	水野忠邦老中となる、鳥山藩米価統制のため地米問屋株設置	3		
1835	天保6	二宮尊徳、茂木藩の仕法実施	4		
1836	天保7	雨降り続き大凶作大飢饉頂点、陸奥で18ヶ村5万9千人が餓死、仙台藩では死体が道に転がる、江戸では下層町民が物乞い行倒れ 全国で一揆・打ち毀し多発、5月南一郎平騒生、鳥山藩尊徳の支援指導の窮民救済仕法で御教小屋設置し、150日余延べ11万余に給食、水戸藩餓死者多く介抱小屋、餓死捨場設置	5		高野長英「勸農備荒二物考」出版
1837	天保8	大塩平八郎蔵書1200冊売却し困窮者に一朱ずる配る、奉行の飢饉対策に抗議し乱を起す。足利町、小俣、菱岡村で騒動起こる	6		ギュッラフ訳聖書出版 浦賀沖でモリソン号事件
1838	天保9	沼社の獄、宇都宮宿苦渋により人馬役減少歎願	7		
1839	天保10	奥羽、飢饉となり死者・浮浪者多数出る	8		
1840	天保11	遠山の金さん、北町奉行に抜擢	9		清・英アヘン戦争
1841	天保12	田中正造、阿蘇郡小中村に生まれる。水野忠邦、天保の改革	10		
1842	天保13	二宮尊徳、幕府普請役格となる、水戸藩が偕楽園をつくる	11		南京条約、香港を英に譲渡
1843	天保14	栄太と改名、日光山大猷齋龍光院、山嶺別当に奉仕 豊かな土地を幕府に差し出させる上知令発布、小田原藩が二宮尊徳の農村復興運動、尊徳仕法に着手	12		
1844	弘化元	朝鮮種人参、下野一國御用作	13		
1845	弘化2	相馬藩、報徳仕法(農村復興運動)で領内の復興をはかる	14		

西暦	年号	事 項	印南	矢板	日本と世界の主な出来事
1846	弘化3	那須山茶臼岳噴火、以降噴煙続、二宮尊徳、日光領復興仕法書を幕府に提出	15		アメリカ・メキシコ戦争
1847	弘化4	上信越地方松代藩大地震、死者578人、怪我人1480人、地震と河川決壊の大災害、善行寺周辺壊滅的な被害。鹿沼町大火災	16		徳川慶喜、一橋家を相続
1848	嘉永元	京都山城豪雨で鴨川・宇治川氾濫、各地で山崩れ起る	17		共産党宣言
1849	嘉永2	武（矢板七五郎）出生、栃木町大火、	18	0	
1850	嘉永3	文作と改名、佐久山宿年寄役印南丈七の養子となる	19	1	洋書の翻訳・刊行を規制
1851	嘉永4	江戸で米価高騰、風邪流行のため施米実施	20	2	太平天国の乱
1852	嘉永5	尊徳、石那田堰修築、益子の大塚啓三郎瀬戸焼を創業	21	3	名Pレオン3世即位
1853	嘉永6	宇都宮・壬生大火、尊徳、関根矢作を褒賞し10両を与える	22	4	ペリー来航栗船来る
1854	安政元	安政東海大地震発生、熊本矢部町に過渡橋完成、伊豆下田大津波 安政南海地震発生、倒壊流出家屋8万余戸、死者3千人 文作、旗本福原氏より町年寄被命、町政に係る	23	5	
1855	安政2	江戸に直下型大地震、市内全域被災、死者7千人、倒壊家屋1万4千余戸。幕府海軍伝習所発足、勝海舟・榎本武揚等、関根矢作、義倉を設置	24	6	パリ万国博覧会
1856	安政3	尊徳歿71才、黒羽藩百姓一揆、松陰、松下村塾主宰 長崎奉行、隠れキリシタン検挙、浦上三番崩れ始る	25	7	第2次アヘン戦争
1857	安政4	黒羽藩一揆関係者処分、黒羽藩主藩校再開し作新館と命名	26	8	インド大反乱
1858	安政5	福沢諭吉、江戸に蘭学塾開校、安政の大獄始る、	27	9	日本修好通商条約
1859	安政6	田中正造、六角家の重課税に反対闘争開始	28	10	ダーウィン「種の起源」
1860	万延元	咸臨丸出航、桜田門外の変、皇女和宮下降了承 関谷庫太佐久山西方荒地開拓に着手	29	11	北京条約で露沿海州取得
1861	文久元	芦野宿助郷村々負担軽減を強訴、米諸物価高騰 足利、佐野、田沼に打ち毀し起る	30	12	米国南北戦争
1862	文久2	文作、印南家の嗣子として入籍、生妻事件	31	13	仏、インドネシア一部占領
1863	文久3	新撰組結成（近藤30才）	32	14	リンカーン奴隷解放宣言
1864	元治元	蛤御門の変、4国連合艦隊下関攻撃、砲台破壊	33	15	新島襄米国へ密出国
1865	慶応元	坂本龍馬等「社中」結成、薩摩藩、森有礼・伍代友厚ら英国派遣	34	16	リンカーン歿
1866	慶応2	文作、関東取締寄場組合35ヶ村取締役、武矢板村組頭となる 江戸、大阪で打ち毀し頻発、慶喜15代将軍（30）となる 黒羽藩両合で農民一揆、今市、粕尾、永野村周辺で打ち毀し	35	17	ノーベル、ダイナマイト発明 福沢諭吉「西洋事情」初編 幕府、海外留学許可
1867	慶応3	明治天皇即位、坂本龍馬暗殺（33）、鳥山で米買占反対打ち毀し	36	18	三河ええじゃないか大爆発
1868	明治元	文作、領主に官軍参加建言、白河攻略従軍、白河の租税取締被命 伊地知参謀と大久保利通に民政窮迫を訴え、納税半額を赦される	37	19	戊辰戦争始る、体制奉還 宇都宮小山壬生等で戦闘
1869	明治2	武、矢板村名主となる、矢板村外9ヶ村の名主頭取となる	38	20	版籍奉還、米大陸横断鉄道
1871	明治4	文作、佐久山宿名主、近隣8ヶ村大惣代となり税取締を被命	40	22	鹿藩置県、岩倉使節団派遣
1872	明治5	文作、宇都宮県第6大区11小区（14ヶ村）の戸長となる	41	23	壬申戸籍、太陽暦採用

那須野が原の主な出来事

西暦	年号	事 項	印南	矢板	日本と世界の主な出来事
1873	明治6	栃木県・宇都宮県統合、栃木県となる。鍋島幹令被命(29) 文作、大三大区六小区27ヶ村戸長被命、徴兵議員となり那須半郡の 軍人を調査、地券調掛となり島山出張所勤務 武、大三区四小区40ヶ村福戸長被命	42	24	地租改正、徴兵令 キリシタン高札撤去 森有礼ら明六社結成
1974	明治7	文作、雑税調査係となり那須半郡調査、酒造税調査委員となる。	43	25	自由民権運動、佐賀の乱
1875	明治8	文作、病氣理由に依願退職、武、七等郵便取扱役となる	44	26	新島襄同志社設立
1876	明治9	地租改正で鍋島県令、印南、矢板、大田原に同宿、那須原への大運河 計画構想に共鳴。文作、学区取締役、勸業課付属、産馬協同会社財産 取締委員、第三区八小区区長、小区公選民会議員。武、大三区三小 区40ヶ村福戸長被命、勸業課付属、小区公選民会議員。 士族授産のため南一郎平ら大規模開拓適地調査	45	27	鍋島幹(32) 薩刀令、日朝修好条約 朝鮮開国、札幌農学校開校 神風連の乱・秋月の乱 萩の乱
1877	明治10	産馬協同会社取締となり同社再建、奥州街道喜連川早乙女の弥五郎 阪を、文作・武改修。文作、南須原に官林設立のため区画調査従事。 大田原に塩谷・那須両郡勸業委員の集会で鍋島県令との那須野が原 開拓の談合の経緯を説明し、全員一致で賛成を得る。1月3日から3日 間西岩崎から氏家まで雪中に運河水路線の調査実施。文作・矢板 上京し、伊藤博文、松方正義に会い、南須原視察を要請。	46	28	西南戦争、博愛社創立 上野で第1回内国勸業博覧会 東京大学設立 英・インド帝国樹立 露土戦争 島村養蚕業者横浜で交易
1878	明治11	文作、洋種野菜栽培を試作、日本人の好みの合わず失敗、砂糖茶の を栽培し、佐藤製造の振興をはかる。渋沢弥作水路予定地調査。 関八州三角測量のため千本松に観象台設置。	47	29	大久保利通暗殺 郡区町村制法、府県会規則
1879	明治12	文作、日光の興廃復興のため保見会設立、幹事となる。那須野原開拓 計画の出願手続き開始、新生産馬会社発足し社長となる、那須官営 牧場設置に勸業委員として参加、伊藤・松方両公の福島県安積用水 起工式に列席するを知り、その帰途那須野原巡覧を乞うため武派遣 那須疏水測量完成、鍋島県令、伊藤博文に「那須野原水路開削之儀」 上申。那須野原開拓地押借計画出願手続き着手、伊藤博文・松方正 義を鳥ヶ森に迎えて開拓計画を説明。武、県議会議員となる。	48	30	琉球藩を廃して沖縄県とする 前米大統領グラント来日 エジソン電球を発明
1880	明治13	那須野原三千町歩押借許可在り、那須開墾社設立、文作社長就任 一本義事務所設置し、10月23日開拓の第1畝を打ち込む。 三島通廣ら墾耕社設立。藤川県令となる。	49	31	田中正造県議会議員となる
1881	明治14	飲用水路、工費2万2千円余で県営工事で着工、7.2km完成、囚人ら 労ため那須開墾社に来る。大山・西郷加治屋開墾、郡司開墾創業 漸進社、那須東原開墾社、東墾耕社、青木農場、佐野農場創業。 有栖川宮徳仁親王、天皇名代で那須開墾社へ来社、開墾事業一覽の 上、発起人一同に感状・酒肴料一封をおくる。	50	32	開拓史官有物払下げ事件、 大隈重信罷免、国会開設の 勸諭、日本鉄道会社設立 パナマ運河起工
1882	明治15	飲料水路15km完成、通水式挙行、藤川県令ら小舟で下る。山田顯義 内務卿水路工事巡察。	51	33	安積疏水完成、軍人勸諭、 日本銀行開業、
1883	明治16	大水路請願及び東京株主募集のため文作・武上京、滞在53日 疏水課長南一郎平1出張測量	52	34	三島通廣樹木県令 品川農場創業
1884	明治17	大水路開削のため第2回上京、「那須水路試削之儀に付き御願」提出 第3回目上京、試験掘りの資金調達、試験掘り着工、第4回上京、 第5回上京中に文作発病、水路開削勸願、隧道試掘願提出、文作・武 私費を投じて取入口試掘	53	35	新国道4号線開通 塩原新道開通 三島蕃盤の目道路開設

西暦	年号	事 項	印南	矢板	日本と世界の主な出来事
1885	明治18	第6回上京、滞在87日、「那須原疏水の儀に付歎願」提出、 工費10万円下付の裁可の指令を太政大臣三条実美から受ける 那須疏水の起工式を烏ヶ森で行う 9月15日那須疏水完成、本幹水路延長16.3km、三島農場事務所 において通水式を行う、北白川宮能久親王台臨、文作・武功を賞され 三重ね銀杯を受ける	54	36	那須開墾社が那須野村に 那須牧場毛利農場となる 東北本線大宮・宇都宮間開通 那須野村に郵便局開設 千本松・一区间直線道路 縦道開通、日光北街道開設
1886	明治19	烏ヶ森に第2農場建築落成、事務所を一本木から移す、文作、佐久山 から那須野村に移居、那須疏水1～4分水一部を残し通水、 日本鉄道宇都宮・黒磯間竣功、武、那須野が原への鉄道敷設に尽力 矢板駅、那須(西那須野)駅、黒磯駅開業	55	37	武、日光鉄道創立委員 帝国大学令、小・中学校令、 師範学校令、国際赤十字 条約加盟
1887	明治20	雲照寺落慶、第2分水より品川農場へ通水(品川堀) 文作、病臥多く自ら履歴を記述	56	38	
1888	明治21	遺言を武に口述し代筆を依頼して家族に残して危篤状態に陥る 1月7日文作永眠、遺言により二つ室常盤が丘に埋葬 武、那須開墾社二代目社長になる、第4分水西場通水 武、雲照寺・長延寺内に学校開設、文作一周忌法要を行う	57	39	東京天文台設立
1889	明治22	那須開墾社内にな須野村役場開庁、三島村と石林村等合併して、 狩野村となる。那須野村を西那須野村と改称。 第2農場内に小学校設立		40	第日本帝国憲法発布
1890	明治23	武、那須開墾誌執筆、暴風雨のため蛇尾川堤防決壊、那須疏水断水		41	田嶋弥三郎島村から入植
1893	明治26	12月31日那須開墾社成業、解散を声明、松方正義千本松千本松 農場設立、鍋島農場設立、本郷定次郎那須育児晩星園青木農場から 三島農場へ移転		44	東北本線全線開通
1894	明治27	烏ヶ森丘上において盛大な那須開墾社成業解散式を行う		45	日清戦争、高等学校令
1898	明治31	印南文作の顕彰碑を烏ヶ森丘上に建立する		49	
1899	明治32	碓氷川鉄橋で強風により列車転覆、死者20名		50	
1900	明治33	藤田農場創立			義和団事件で日本出兵
1902	明治35	加治屋開墾場を西郷・大山両家に分割		52	日英同盟協約締結
1903	明治36	細川農場創立		53	
1912	大正元	黒磯町誕生、軽便鉄道西那須野・関谷間開通 自動車初めて塩原に入る		63	明治天皇没、乃木夫妻殉死 中華民国成立
1914	大正3	烏ヶ森周辺公園化、桜の名所、田嶋弥三郎地下水ポンプ揚水		65	第一次世界大戦
1918	大正7	東野鉄道西那須野・黒羽間開通、文作、特旨を以って叙、従五位		69	富山米騒動、シベリア出兵
1922	大正11	武、宇都宮別荘で永眠、常盤が丘に文作と共に埋葬 塩原軌道電車となる			ムッソリーニ政権成立、ソヴィ エト社会主義共和国連邦成立
1952	昭和27	那須疏水普通水利組合を那須疏水土地改良区と改称			
1955	昭和30	西那須野町、狩野村が合併、西那須野町となる			
1967	昭和42	国営開拓パイロット事業基本計画決定、事業所開設			
1944	平成6	国営事業完成式挙行			
2005	平成17	黒磯市、西那須野町、塩原町が合併し、那須塩原市となる			